

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第5号 平成30年9月7日

平成最後の夏! 日本一の栄冠!

ニュースや新聞では、猛暑に、熱中症、そして台風のことを毎日のように報道された夏でした。部活動やサマースクール等を頑張っていた本校生徒の体調をずいぶん心配されたことと思います。幸い大事には至りませんでした。学校での水分補給に休憩、食事、睡眠と健康な生活を意識した取組をこれからも継続していきたいと思っています。

一方では、「100回目の夏」を迎えた甲子園の熱戦、平和祈念式典での「平成最後の夏」といったキーワードが心に残りました。特に、平和のバトンを受け継ぐ生徒のみなさんには、昭和から平成、そして新しい夏を迎える来年以降も、「歴史を学び、ニュースや新聞に関心を持ち、話を聴き、本を読む」ことを大切に、平和で豊かな社会を築く日本人となることを願っています。「八月や 六日九日 十五日」

また、甲子園の熱い戦いやアジア大会に負けないような山中生の頑張りを感じた夏でもありました。早朝散歩をしていると、さわやかな挨拶とともに自転車で登校する生徒によく出会いました。3年生最後の部活動や新チームでの活動はもとより、かん水当番やボランティア活動に熱心に取組んだり、地域の行事に進んで貢献したりと頑張る姿をうれしく思います。

なかでも、8月に明治神宮で開催された全日本中学生弓道大会に出場した女子弓道部は、団体で**5位入賞**を果たし、個人では3年生の澤田桃香さんが見事優勝しました。予選を勝ち残った12名による決勝射詰では、連続的中させ、**中学日本一**となりました。山鹿中としても、新たな歴史を刻む大きな自信と誇りになりました。本当におめでとうございます。

最後に、この夏に日本サッカー協会長の田嶋幸三氏の講演を聴くことができました。先般のワールドカップの話や50年後、100年後を見据えたビジョンに大きな夢を感じたところです。中学生時代は、基礎基本を大切に練習の重要性、将来にわたってスポーツに親しむ必要性を話されました。またサッカーを通し、常に「フェアプレー精神」を原点として、リスペクト（仲間、相手、指導者、審判、ルール、施設、道具などを大切に思うこと）することを力説され、中学校での部活動や地域クラブへの期待が伝わってきました。2学期も子どもたちの頑張り、成長を楽しみにしています。



